



本田技研工業株式会社

2012年7月31日

ACURA RDX
(北米)

2012年度 第1四半期 決算説明会

代表取締役 副社長執行役員

岩村 哲夫

取締役 専務執行役員 事業管理本部長

池 史彦

執行役員 経理部長

竹内 弘平

財務部長

廣田 和久

2012年度 第1四半期決算および通期業績見通し

取締役 専務執行役員 事業管理本部長

池 史彦

- ・ 2012年度 第1四半期 連結決算概要
- ・ 2012年度 連結業績見通し
- ・ 配当

執行役員 経理部長

竹内 弘平

- ・ 2012年度 第1四半期決算

売上高事業別増減

税引前利益増減要因

事業別セグメント情報

所在地別セグメント情報

関連会社持分利益

設備投資

2012年度 第1四半期 連結決算概要

Hondaグループ販売台数 (連結売上台数) (千台)	第1四半期(3か月間)		
	2011年度 実績	2012年度 実績	増減率
二輪事業	3,477 (1,949)	3,911 (2,366)	+ 12.5% (+ 21.4%)
四輪事業	625 (458)	999 (849)	+ 59.8% (+ 85.4%)
汎用パワープロダクツ 事業	1,512 (1,512)	1,625 (1,625)	+ 7.5% (+ 7.5%)

損益状況 (億円)	第1四半期(3か月間)		
	2011年度 実績	2012年度 実績	増減率
売上高	17,145	24,359	+ 42.1%
営業利益	225	1,760	+ 679.5%
税引前利益	292	1,947	+ 564.8%
関連会社持分利益	286	207	- 27.6%
当社株主に帰属する 四半期純利益	317	1,317	+ 314.3%
1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益	17.64 円	73.09 円	+ 55.45 円

算定上の基礎となる株式数:

約1,802,301千株
(期中平均株式数)

約1,802,299千株
(期中平均株式数)

為替(売上)レート

米ドル	82 円	80 円	2 円 円高
ユーロ	118 円	104 円	14 円 円高

業績総括

第1四半期連結営業利益率は7.2%
好調な新モデルの販売や、
前年の震災影響からの回復もあり、
日本・北米四輪事業における利益が大幅に増加した。
アジア地域における二輪及び四輪事業も
増益に貢献した。

業績ハイライト

Hondaグループ販売台数

二輪事業:
アジア地域や北米地域で増加

四輪事業:
全ての地域において増加

汎用パワープロダクツ事業:
北米地域・アジア地域・その他地域での増加

売上高

- ・震災影響からの回復に伴う四輪事業での増加
- ・二輪事業での増加

営業利益

- ・売上変動及び構成差に伴う利益の増加
- ・コストダウン効果
- ・販売費及び一般管理費の増加

2012年度 通期 連結業績見通し

連結業績見通しは、前回(4/27)見通しから変化無し

(億円)

	2011年度 実績	2012年度 (見通し)	増減	
			額	率
売上高	79,480	103,000	+ 23,519	+ 29.6%
営業利益	2,313	6,200	+ 3,886	+ 168.0%
税引前利益	2,574	6,350	+ 3,775	+ 146.7%
関連会社持分利益	1,004	1,200	+ 195	+ 19.5%
当社株主に帰属する 当期純利益	2,114	4,700	+ 2,585	+ 122.2%
1株当たり当社株主に 帰属する当期純利益	117.34 円	260.78 円	+ 143.44 円	

算定上の基礎となる株式数：

約1,802,300千株
(期中平均株式数)

約1,802,299千株
(期中平均株式数)

為替(売上)レート

米ドル	79 円	80 円	1 円 円安
ユーロ	108 円	105 円	3 円 円高

(円)

1株当たり配当金	2011年度	2012年度 (予想)	対2011年度 増減額
第1四半期末配当金	15	19	+ 4
第2四半期末配当金	15	(19)	(+ 4)
第3四半期末配当金	15	(19)	(+ 4)
期末配当金	15	(19)	(+ 4)
年間配当金	60	(76)	(+ 16)

2012年度 第1四半期決算および通期業績見通し

取締役 専務執行役員 事業管理本部長

池 史彦

- ・ 2012年度 第1四半期 連結決算概要
- ・ 2012年度 連結業績見通し
- ・ 配当

執行役員 経理部長

竹内 弘平

- ・ 2012年度 第1四半期決算

売上高事業別増減

税引前利益増減要因

事業別セグメント情報

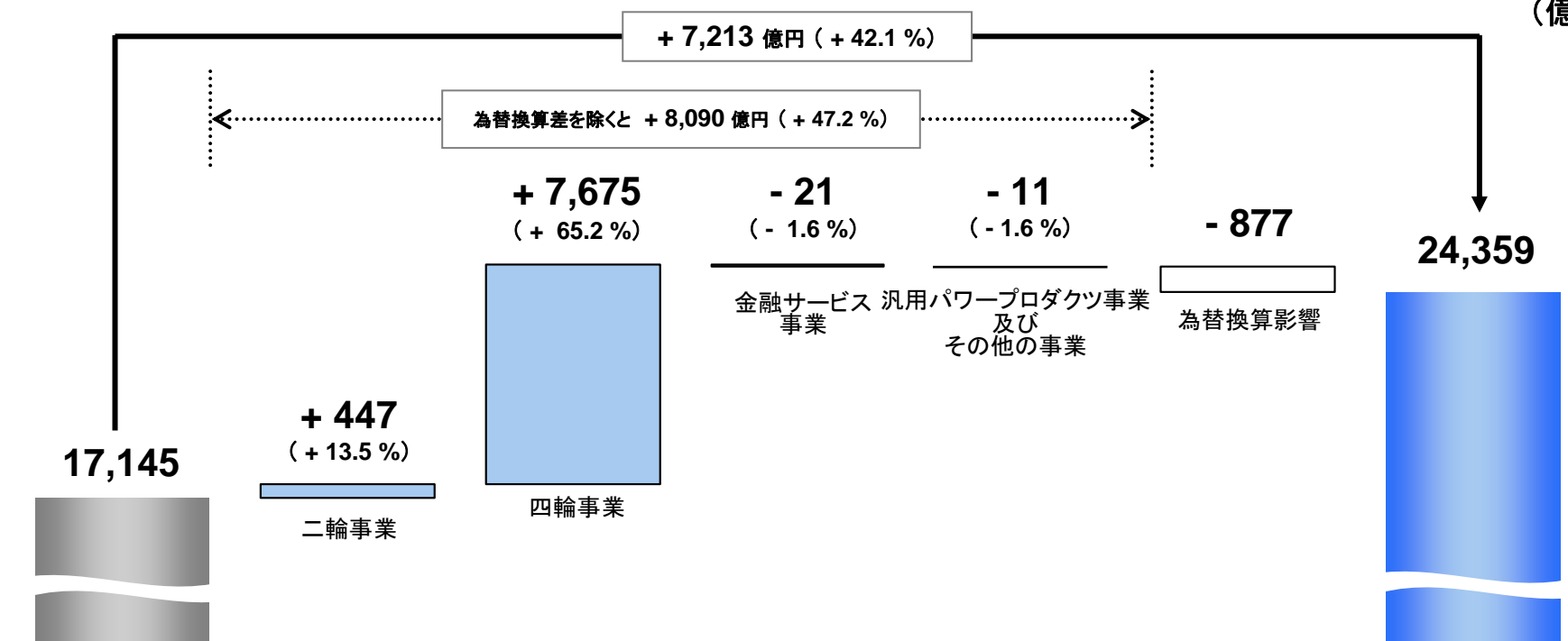
所在地別セグメント情報

関連会社持分利益

設備投資

2012年度 第1四半期 売上高事業別増減

(億円)



前年同期

(億円)

二輪事業	3,303
四輪事業	11,769
金融サービス事業	1,358
汎用パワープロダクツ事業 及びその他の事業	714
合計	17,145

(ご参考) 期中平均レート

米ドル	82 円
ユーロ	117 円

当第1四半期

(億円)

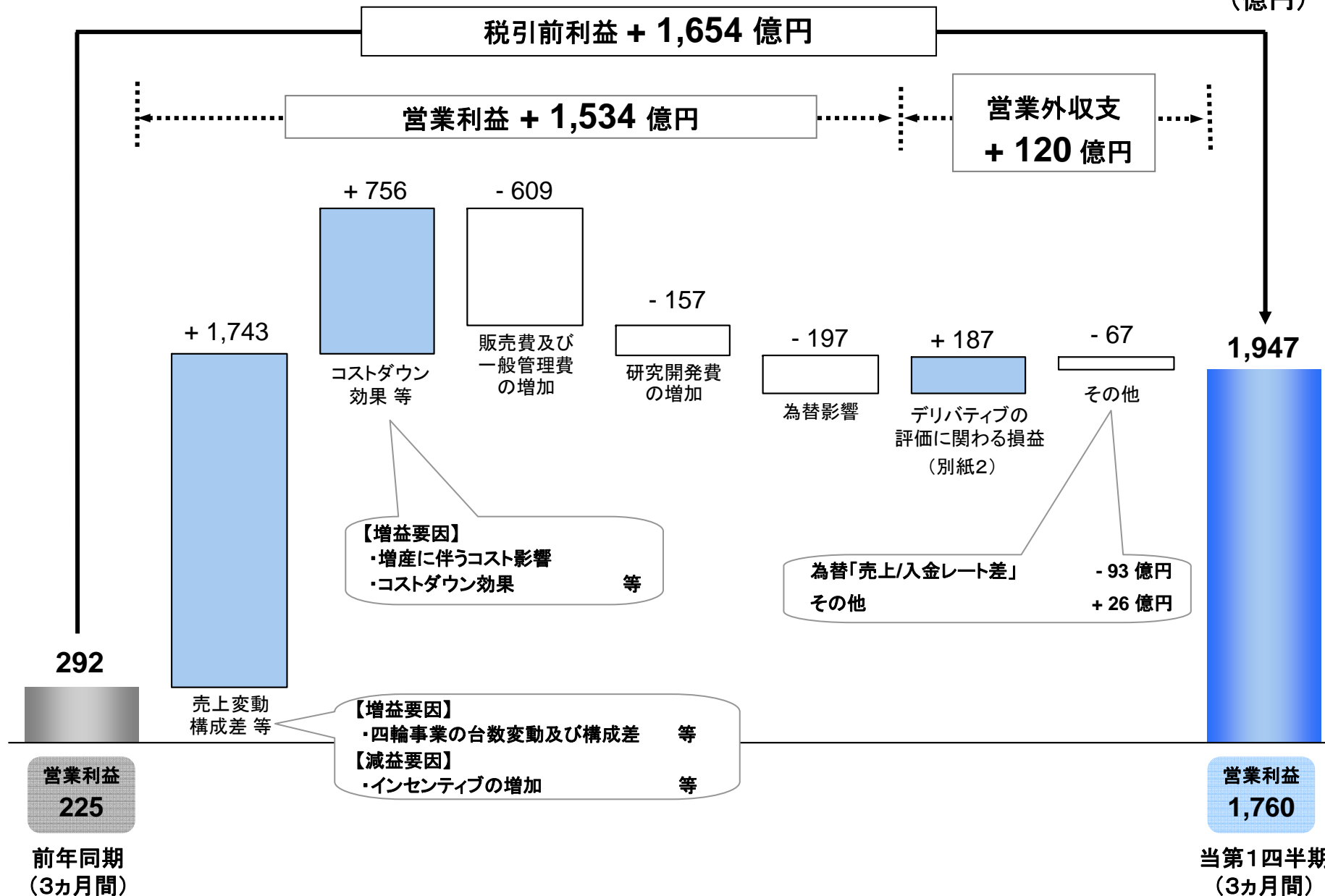
二輪事業	3,466
四輪事業	18,905
金融サービス事業	1,312
汎用パワープロダクツ事業 及びその他の事業	674
合計	24,359

(ご参考) 期中平均レート

米ドル	80 円
ユーロ	103 円

2012年度 第1四半期 税引前利益増減要因

(億円)



*為替影響については別紙1をご覧ください

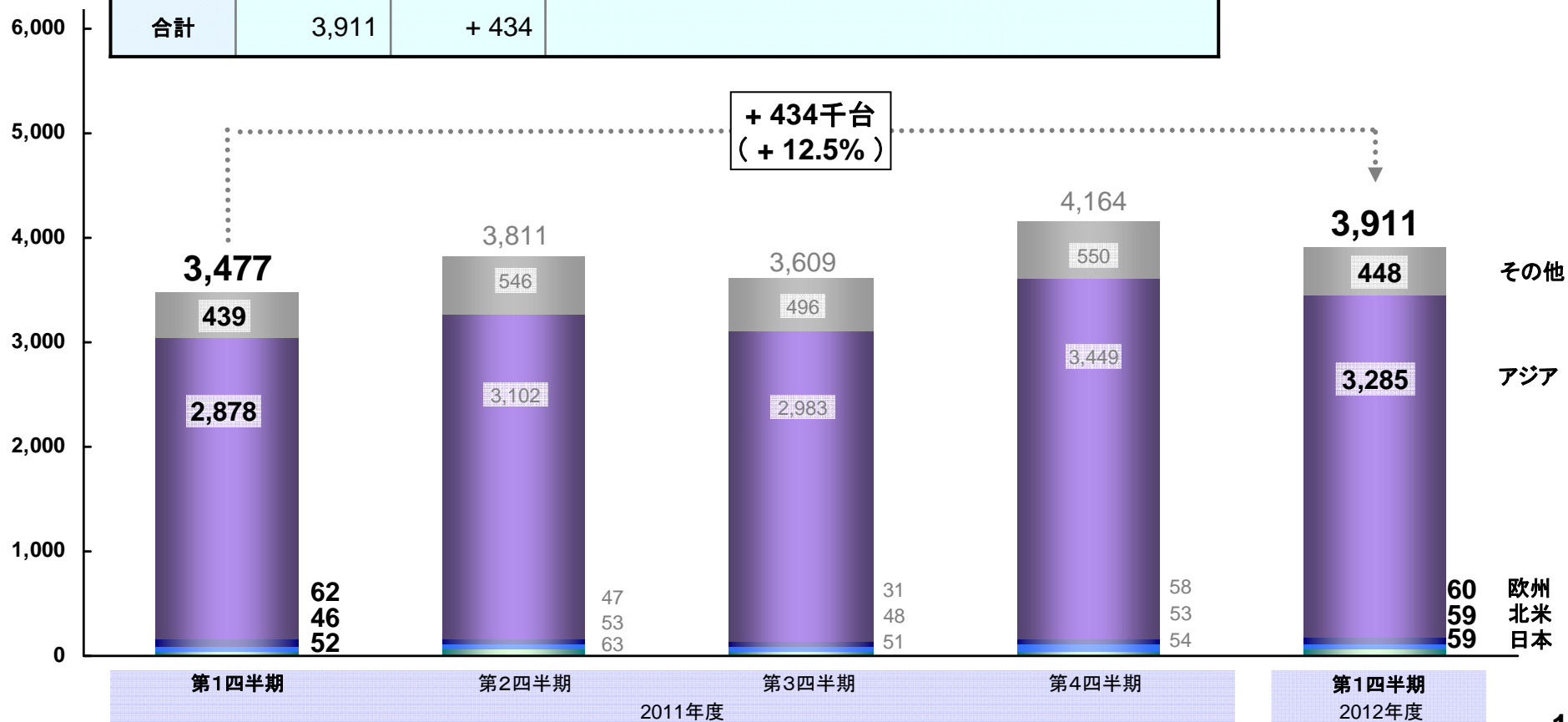
【二輪事業(二輪車 + ATV 等)】 Hondaグループ販売台数

(千台)	2012年度 第1四半期	対前年同期増減	主な増減内容
日本	59	+ 7	-全面改良したスーパーカブ50、新型オン・オフロードモデルCRF250L、NC700シリーズ等の投入効果
北米	59	+ 13	-FourTrax RancherなどのATVの増加 -CBR250R、スクーターRuckusなどの増加
欧州	60	- 2	-ドイツ、イギリスにおけるNCシリーズ等の投入効果 -南欧市場におけるスクーターの減少
アジア	3,285	+ 407	-インドにおける、Activa、CBShine等の増加、Dream Yugaの投入効果 -ベトナムにおけるVisionの投入効果、タイにおけるClick i、Wave110iの増加 -インドネシアにおけるBeATの増加、Vario Technoの投入効果
その他	448	+ 9	-ナイジェリアにおける新興国向け低価格戦略車Ace CB125の投入効果 -ブラジルにおけるCG125FAN等の販売減少
合計	3,911	+ 434	

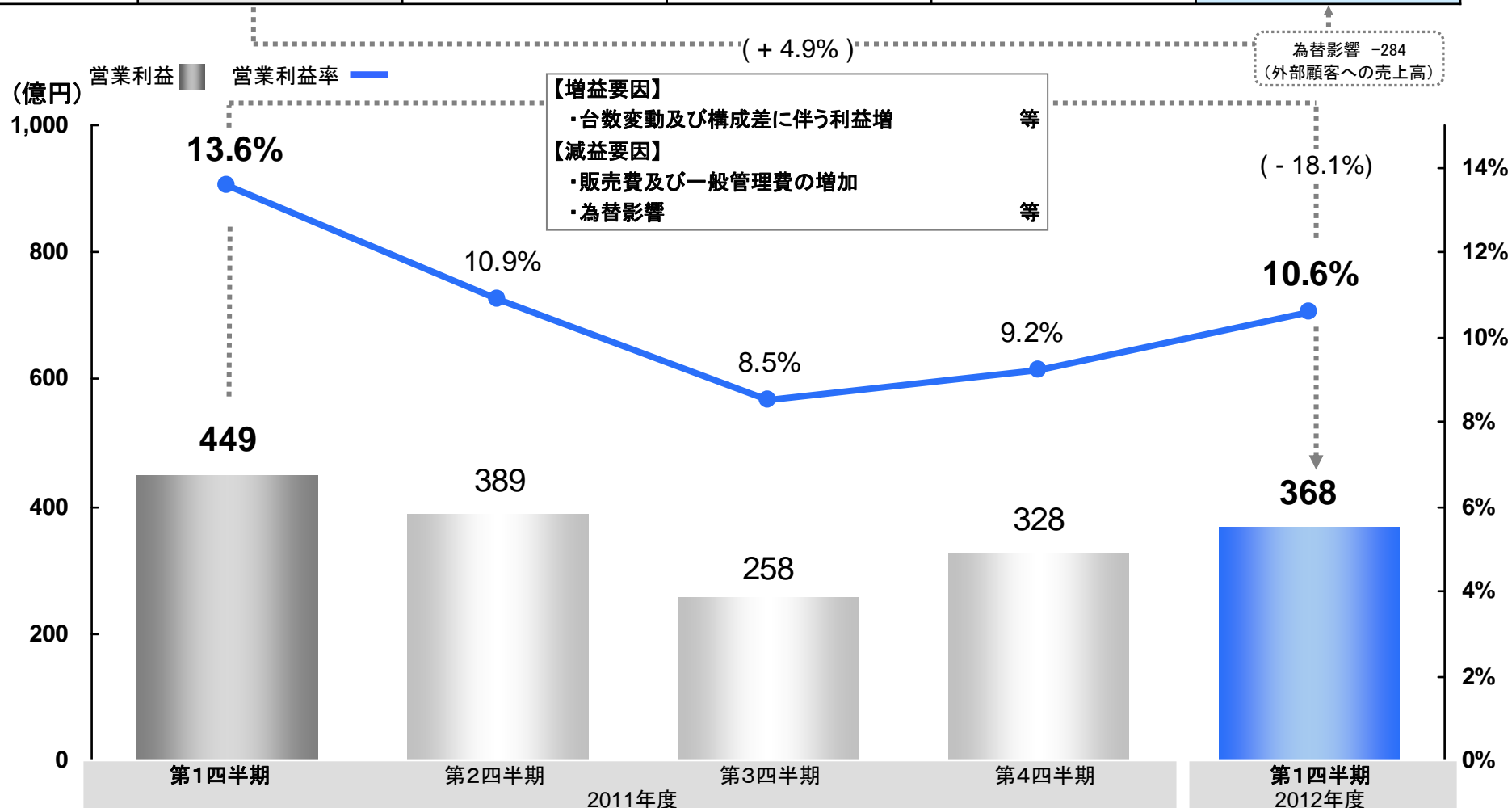


Dream Yuga
(インド)

(千台)



	2011年度				2012年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
Honda グループ販売台数 (連結売上台数)	3,477 (1,949)	3,811 (2,187)	3,609 (2,031)	4,164 (2,483)	3,911 (2,366)
売上高	3,303	3,573	3,025	3,585	3,466

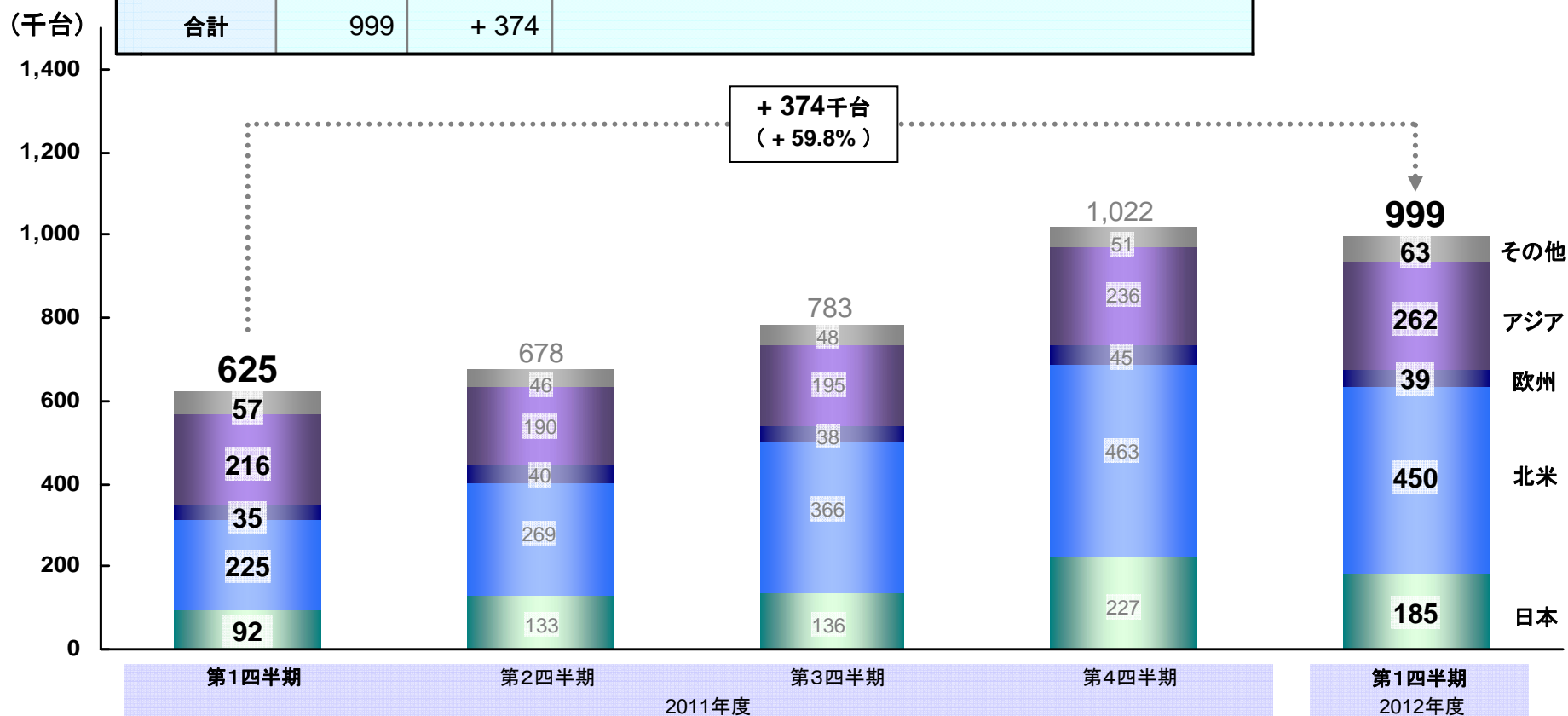


【 四輪事業 】 Hondaグループ販売台数

(千台)	2012年度 第1四半期	対前年同期増減	主な増減内容
日本	185	+ 93	-N-BOX、FREED HYBRID、SPIKE HYBRID等の新車投入効果等
北米	450	+ 225	-昨年度震災影響により減少したACCORD、CIVIC等、基幹モデルの販売回復 -CR-V、RDX、ILX等の新車投入効果
欧州	39	+ 4	-昨年度震災影響により販売減少した反動による、英国、ドイツ市場における JAZZ、CIVICの販売増加
アジア	262	+ 46	-タイにおけるCITYの販売増加、インド、タイでのBRIOの販売増加
その他	63	+ 6	-中近東、オーストラリアでの販売増加、ブラジルでの販売減少
合計	999	+ 374	



Civic (北米)

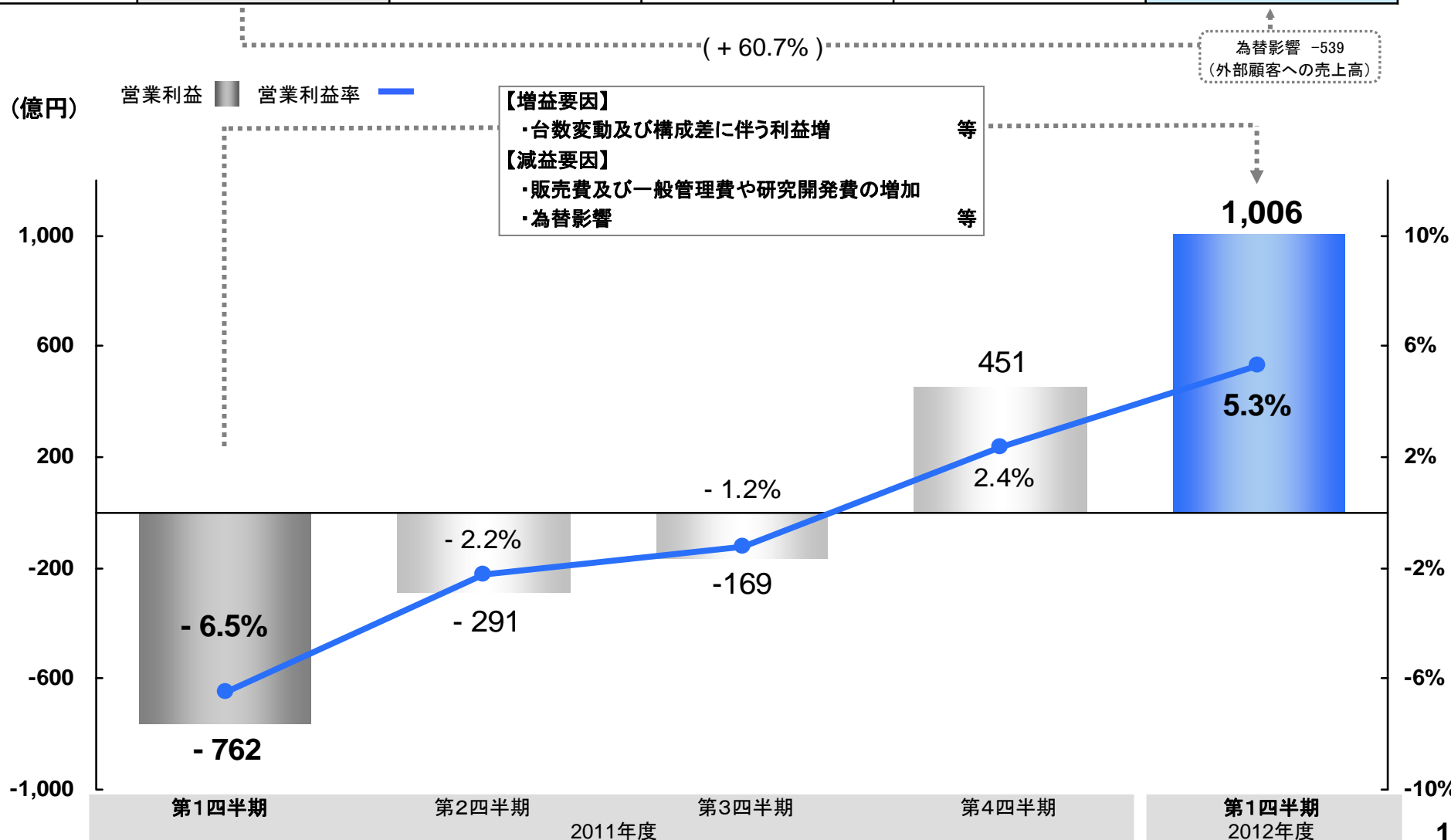


【 四輪事業 】

売上台数 / 売上高 / 営業利益(率)

(千台) / (億円)

	2011年度				2012年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
Honda グループ販売台数 (連結売上台数)	625 (458)	678 (571)	783 (622)	1,022 (831)	999 (849)
売上高	11,788	13,371	14,556	18,511	18,947

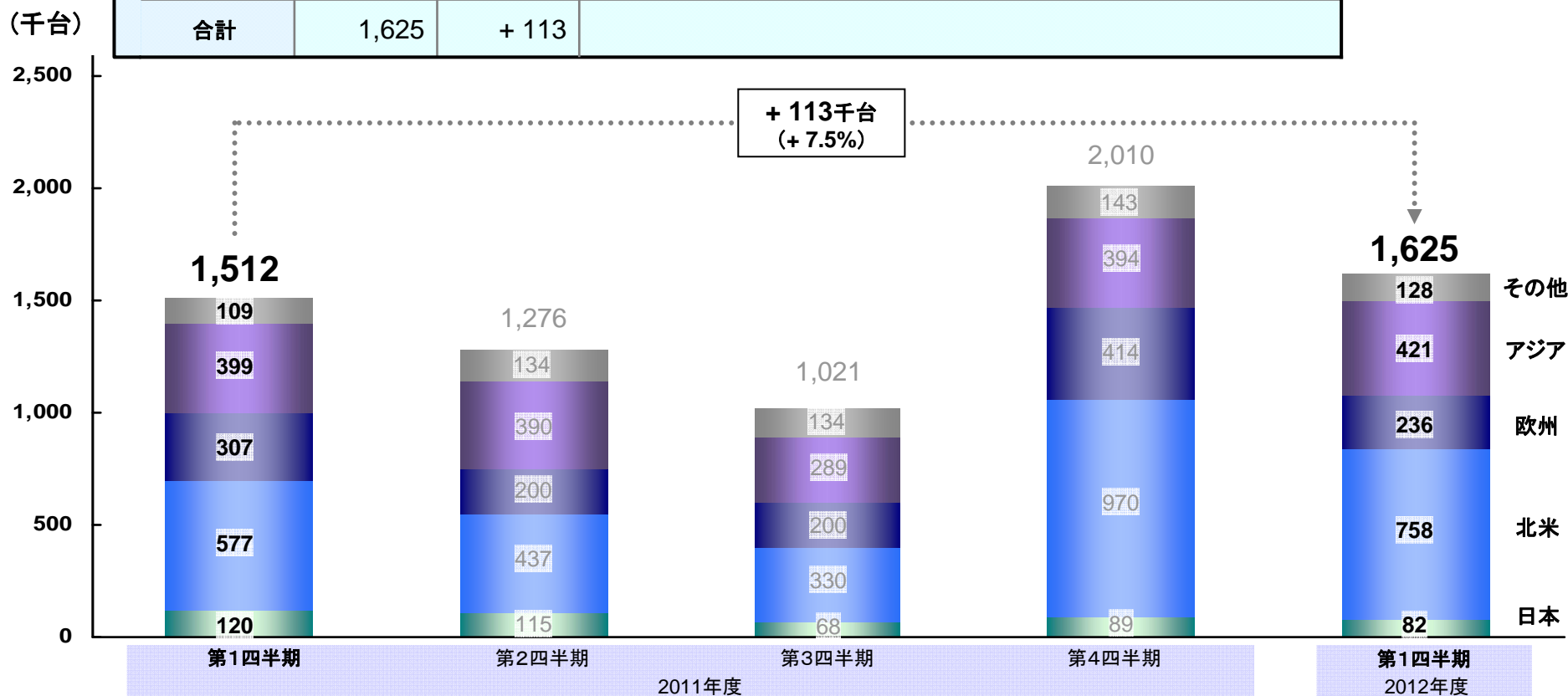


【 汎用パワープロダクツ事業 】 Hondaグループ販売台数

(千台)	2012年度 第1四半期	対前年同期増減	主な増減内容
日本	82	- 38	-円高、および欧州景気低迷に伴う、発電機用およびポンプ用OEMエンジンGX390、GX25 / 35、GX160などの減少
北米	758	+ 181	-暖冬に伴う需要増加による、芝刈機、高圧洗浄機用OEMエンジンGCV160などの増加 および芝刈機、発電機などの増加
欧州	236	- 71	-南欧諸国における芝刈機用OEMエンジンGCV135 / 160などの減少
アジア	421	+ 22	-インドネシアにおける販売網拡大に伴うOEM向けエンジンGX160、ポンプWB20 / 30などの増加 -中国におけるOEM向けエンジンGX160などの増加
その他	128	+ 19	-洪水影響による受注残の解消促進に伴う、南米諸国向けタイ製ポンプWB20 / 30、 および汎用エンジンなどの大幅増加
合計	1,625	+ 113	



GCV160 (北米)

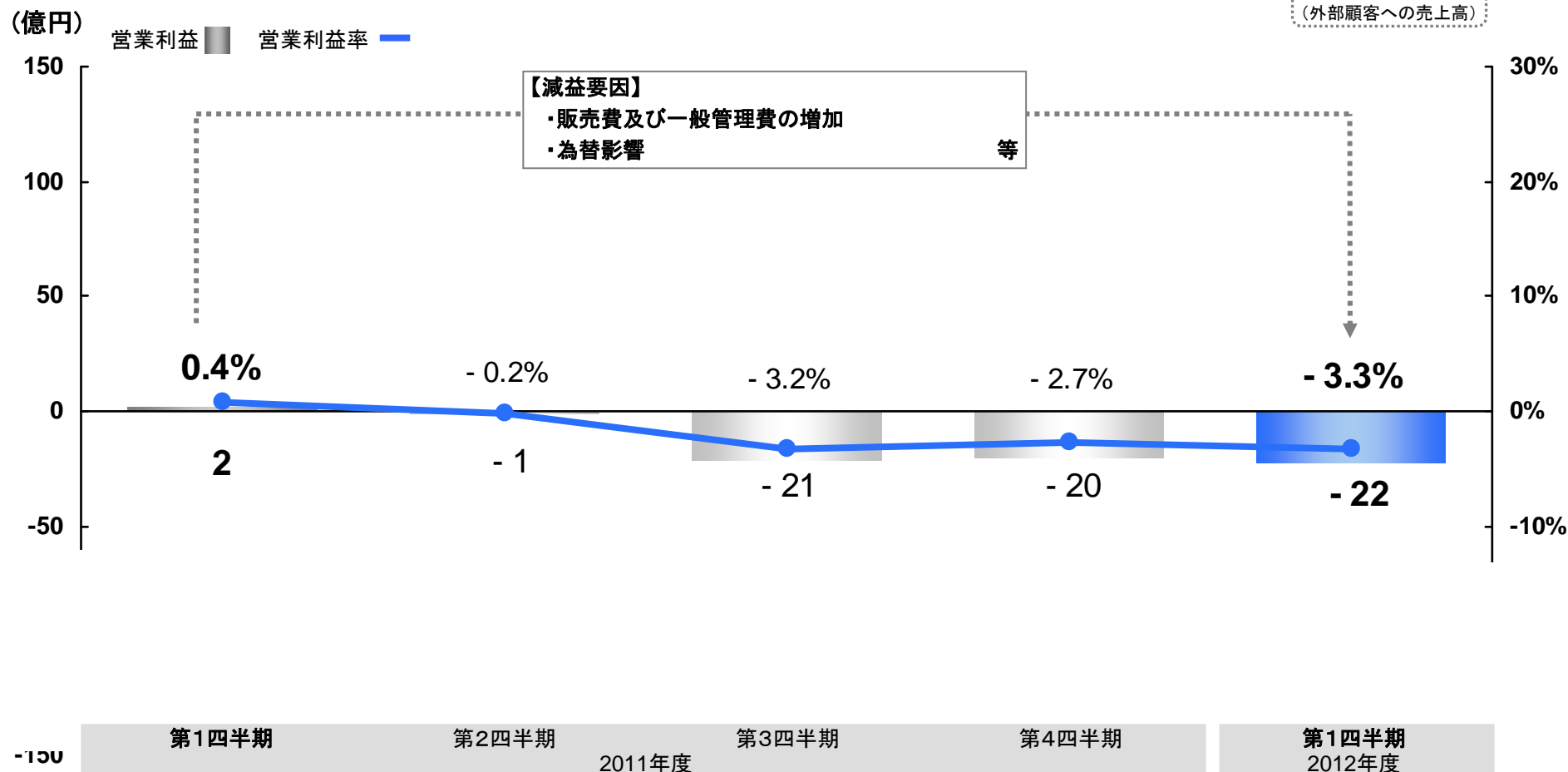


【 汎用パワープロダクツ事業及びその他の事業 】

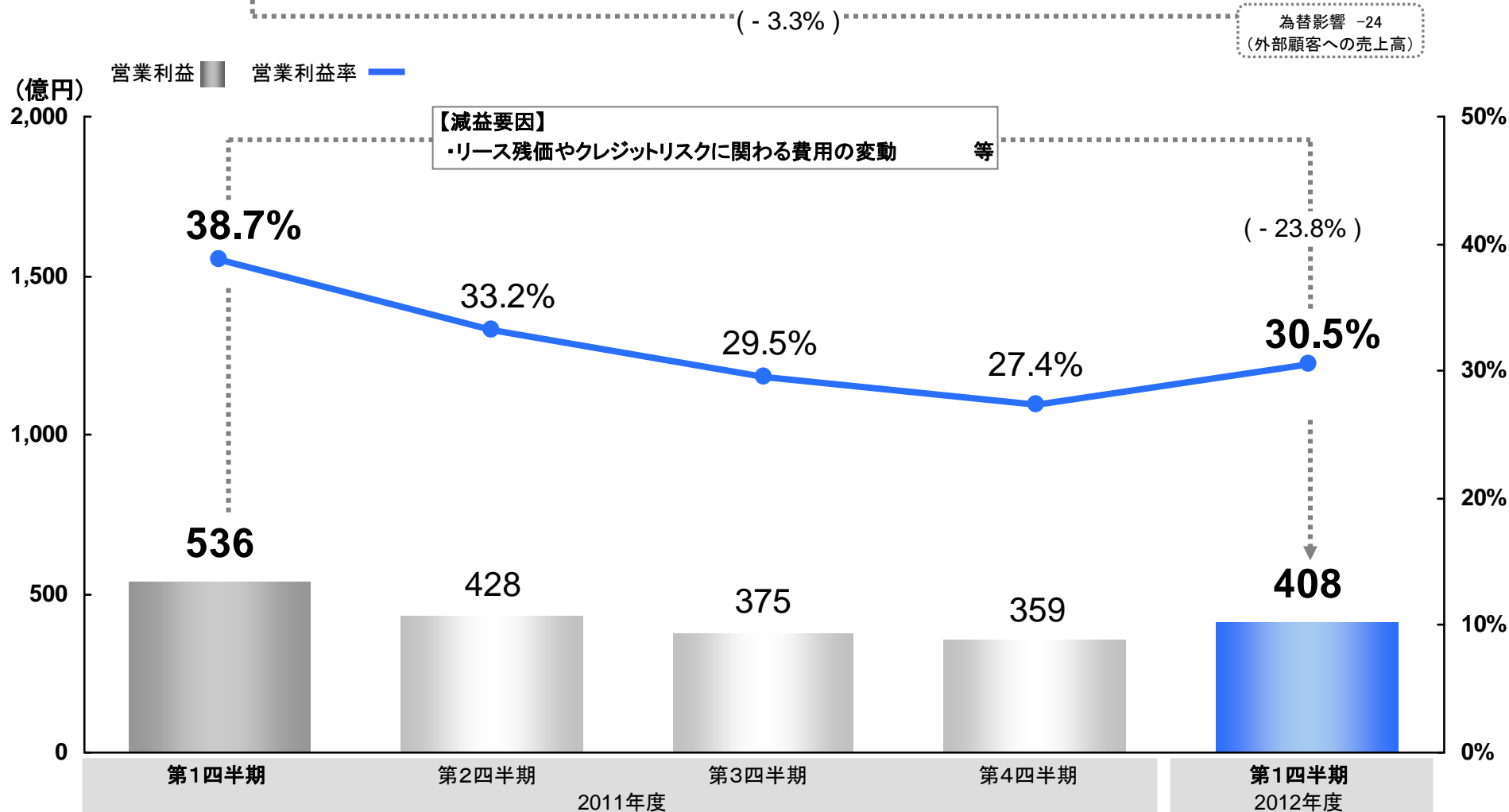
売上台数 / 売上高 / 営業利益(率)

	2011年度				2012年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
Honda グループ販売台数 (連結売上台数)	1,512 (1,512)	1,276 (1,276)	1,021 (1,021)	2,010 (2,010)	1,625 (1,625)
売上高	739	721	680	756	699

(千台) / (億円)



	2011年度				2012年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
金融子会社 資産合計	54,457	51,692	52,905	56,443	55,676
売上高	1,386	1,291	1,275	1,312	1,340

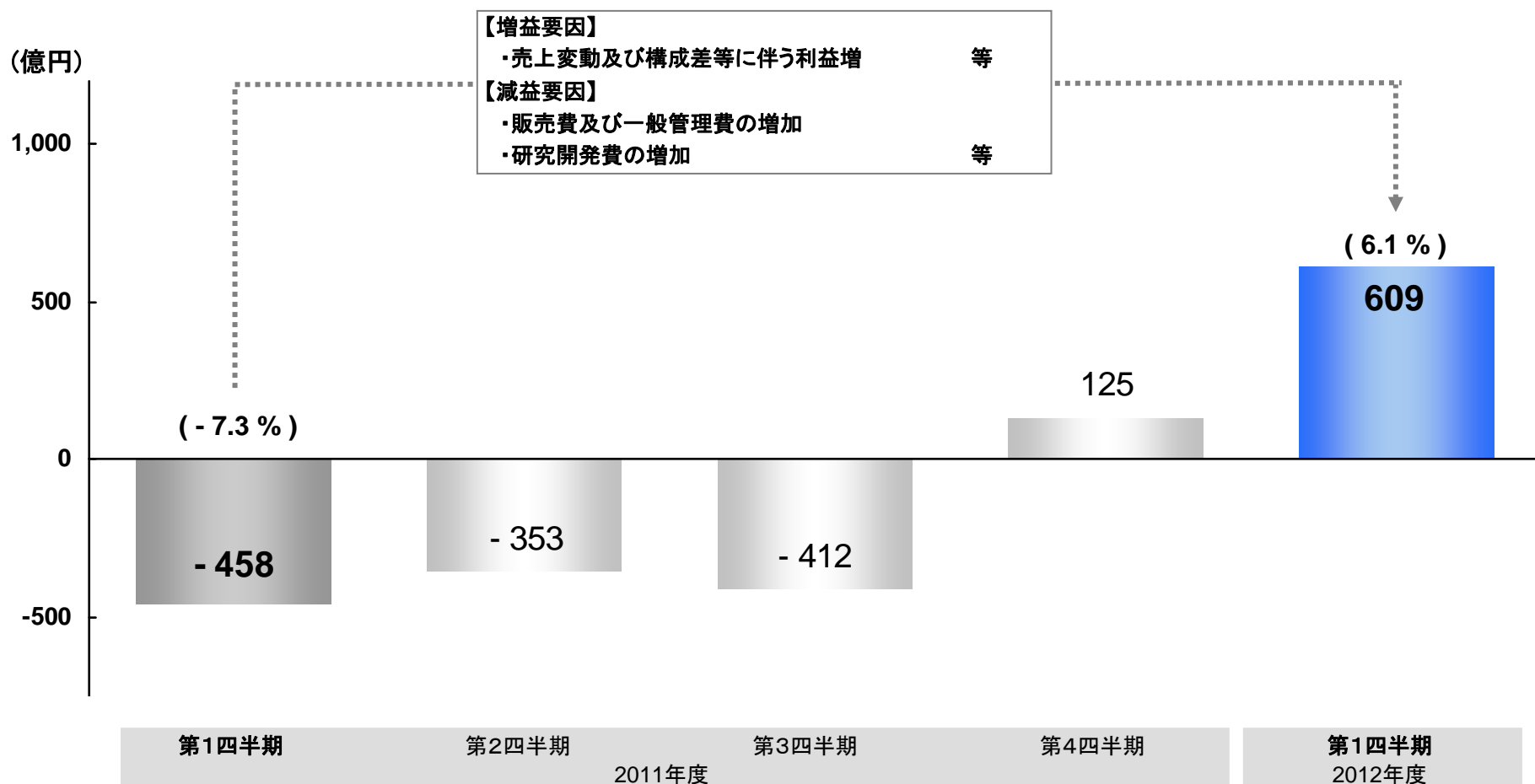


売上高	2011年度				2012年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
	6,253	8,053	8,631	10,690	10,066

(億円)

(+ 61.0%)

営業利益 ■ 営業利益率 (%)



	2011年度				2012年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
売上高	7,339	7,941	9,862	12,003	12,147

(億円)

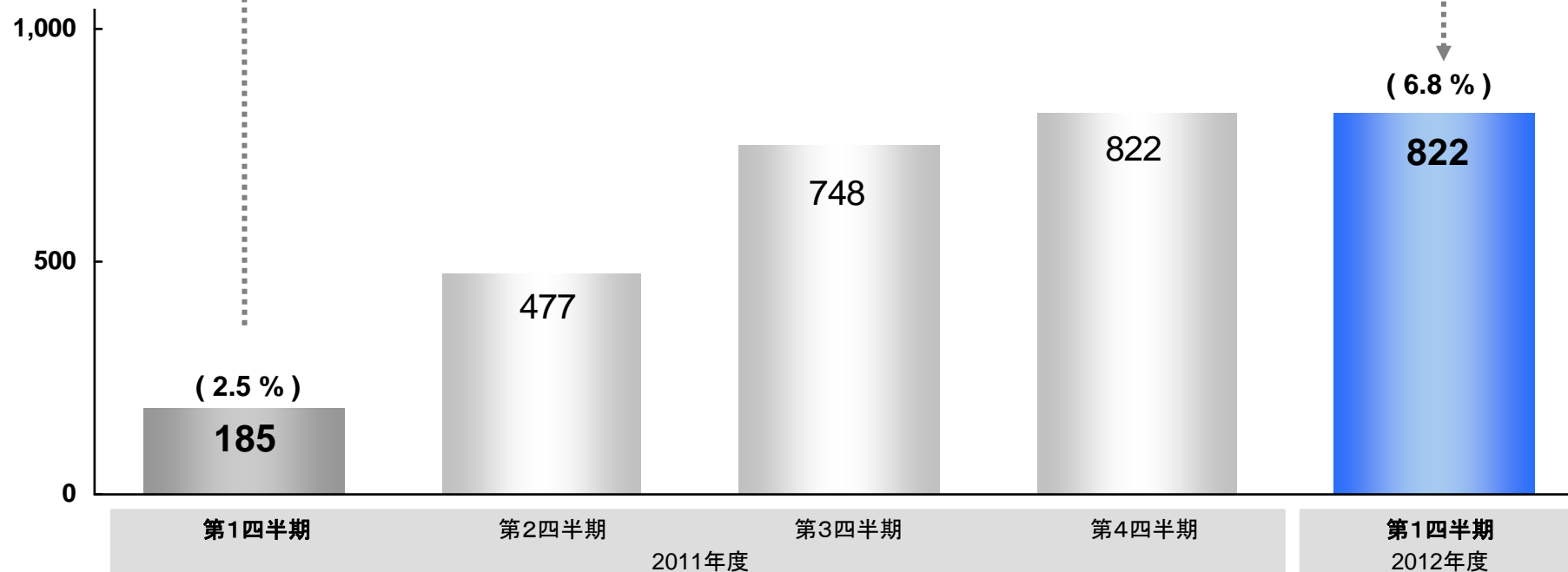
(+ 65.5%)

営業利益 ■ 営業利益率 (%)

【増益要因】	
・売上変動及び構成差に伴う利益増	等
【減益要因】	
・販売費及び一般管理費の増加	
・為替影響	等

(+ 344.1%)

(億円)



【 欧 州 】

売上高 / 営業利益(率)

	2011年度				2012年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
売上高	1,509	1,445	1,194	1,658	1,478

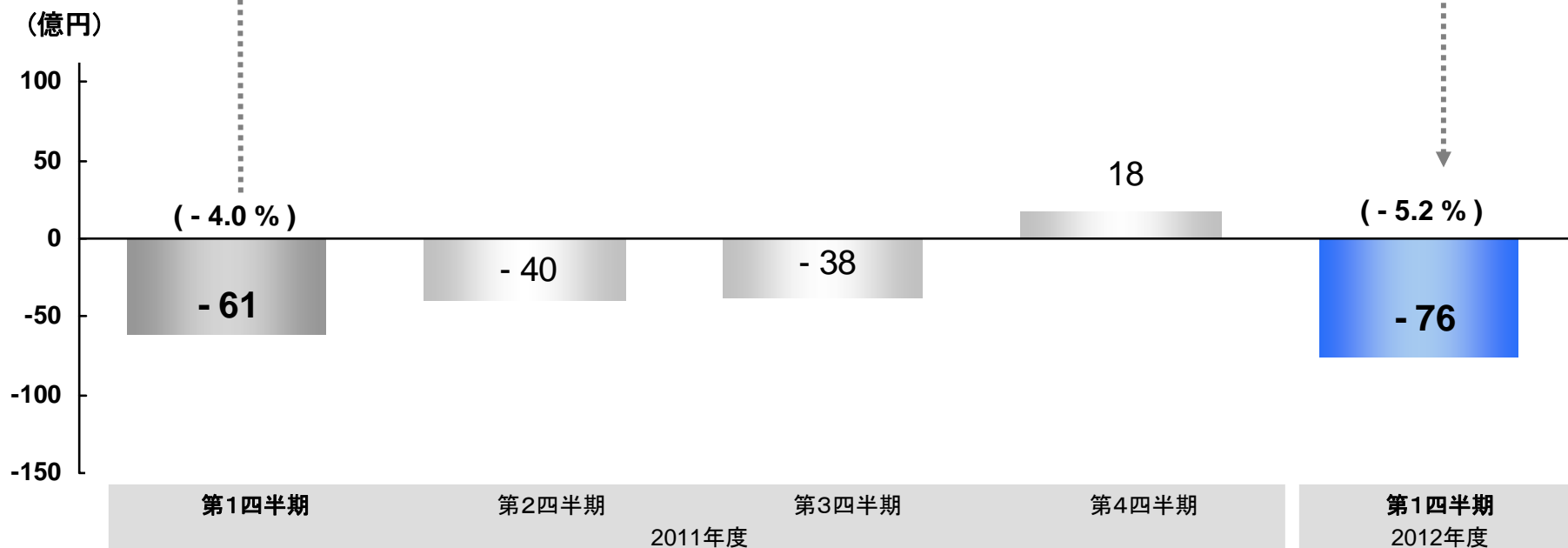
(億円)

----- (- 2.0%) -----

営業利益 ■ 営業利益率 (%)

【増益要因】
 ・売上変動及び構成差に伴う利益増 等

【減益要因】
 ・販売費及び一般管理費の増加 等
 ・為替影響 等

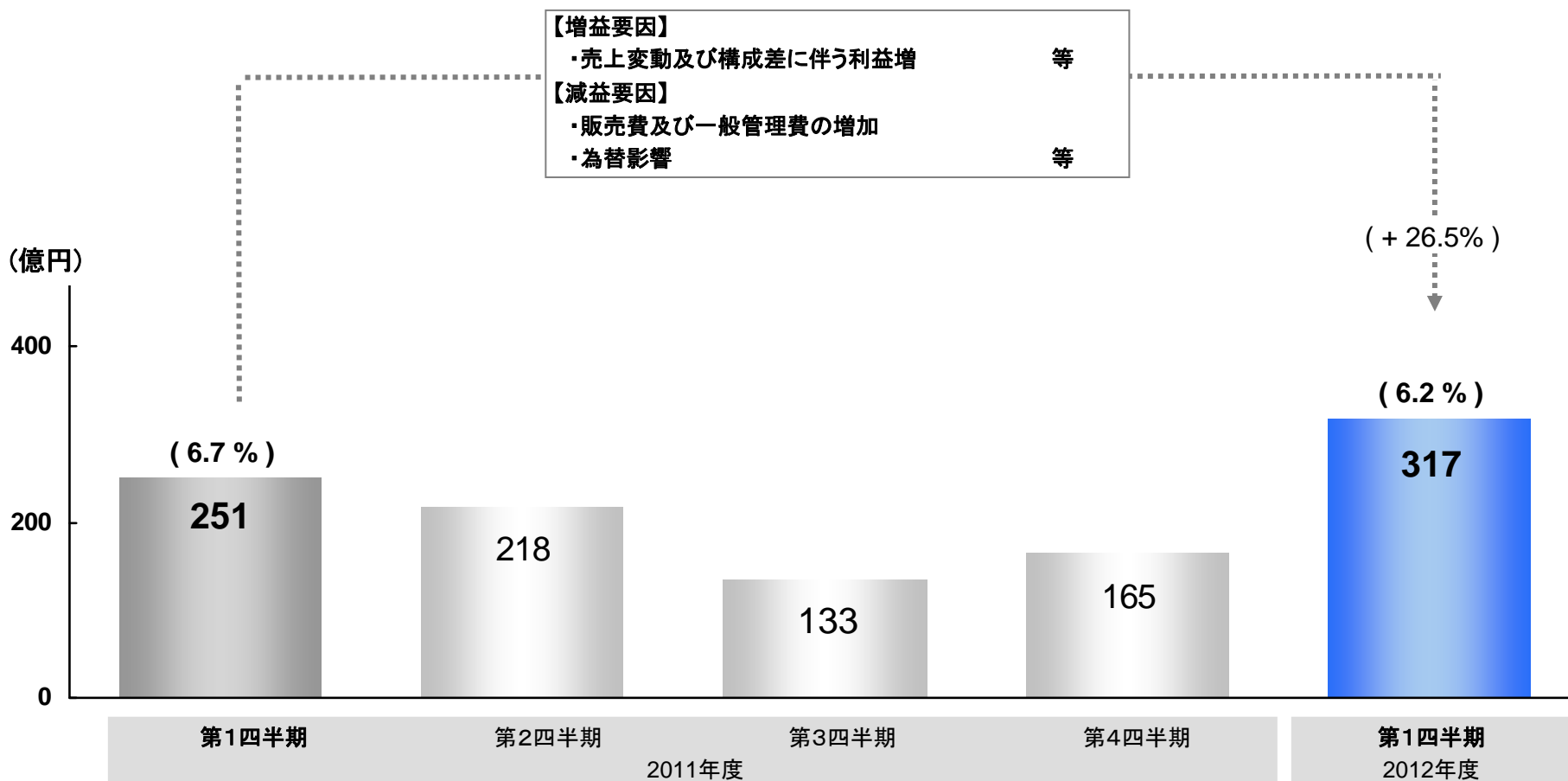


売上高	2011年度				2012年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
	3,734	4,077	3,176	3,915	5,128

(億円)

(+ 37.3%)

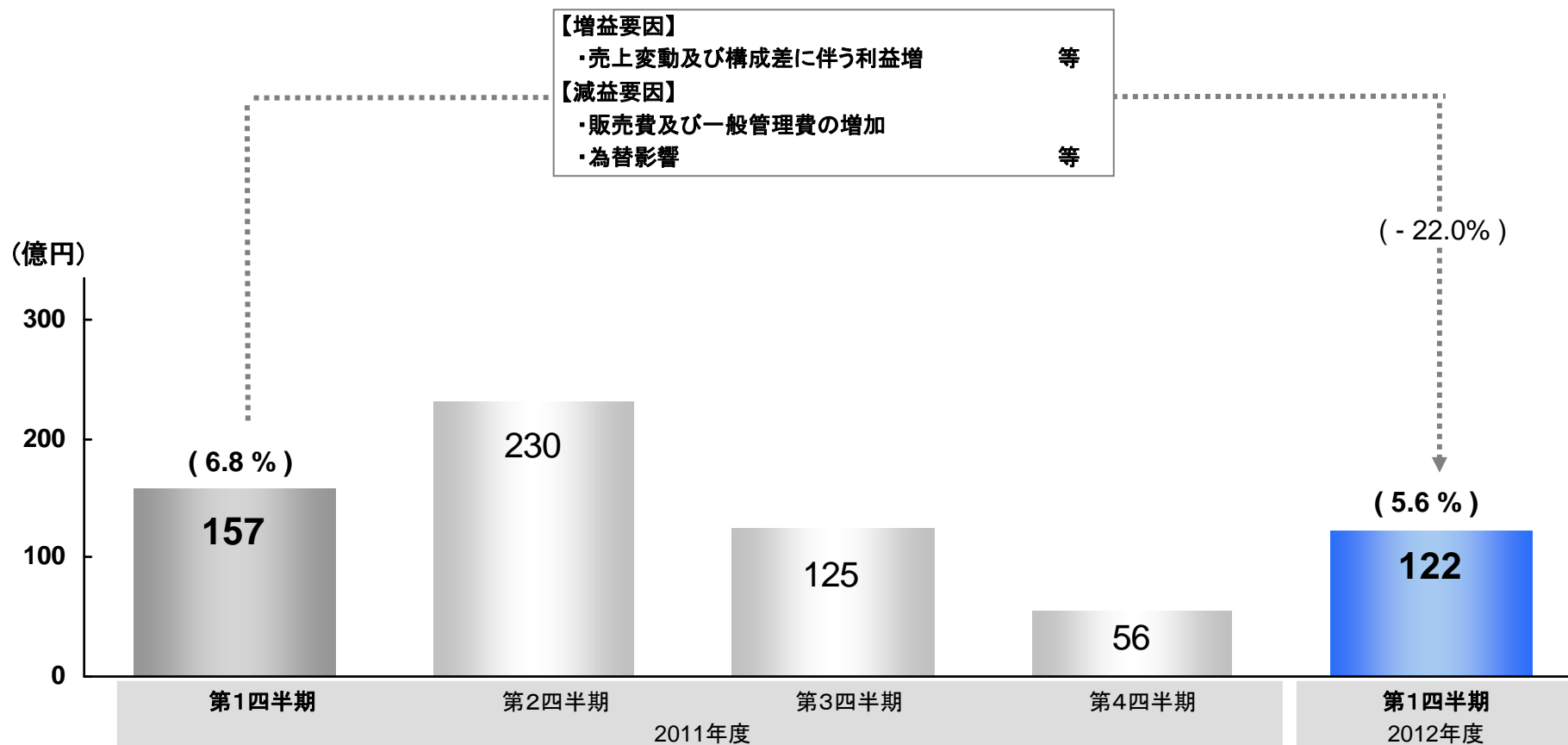
営業利益 ■ 営業利益率 (%)



売上高	2011年度				2012年度	(億円)
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	
	2,299	2,443	2,061	2,126	2,203	

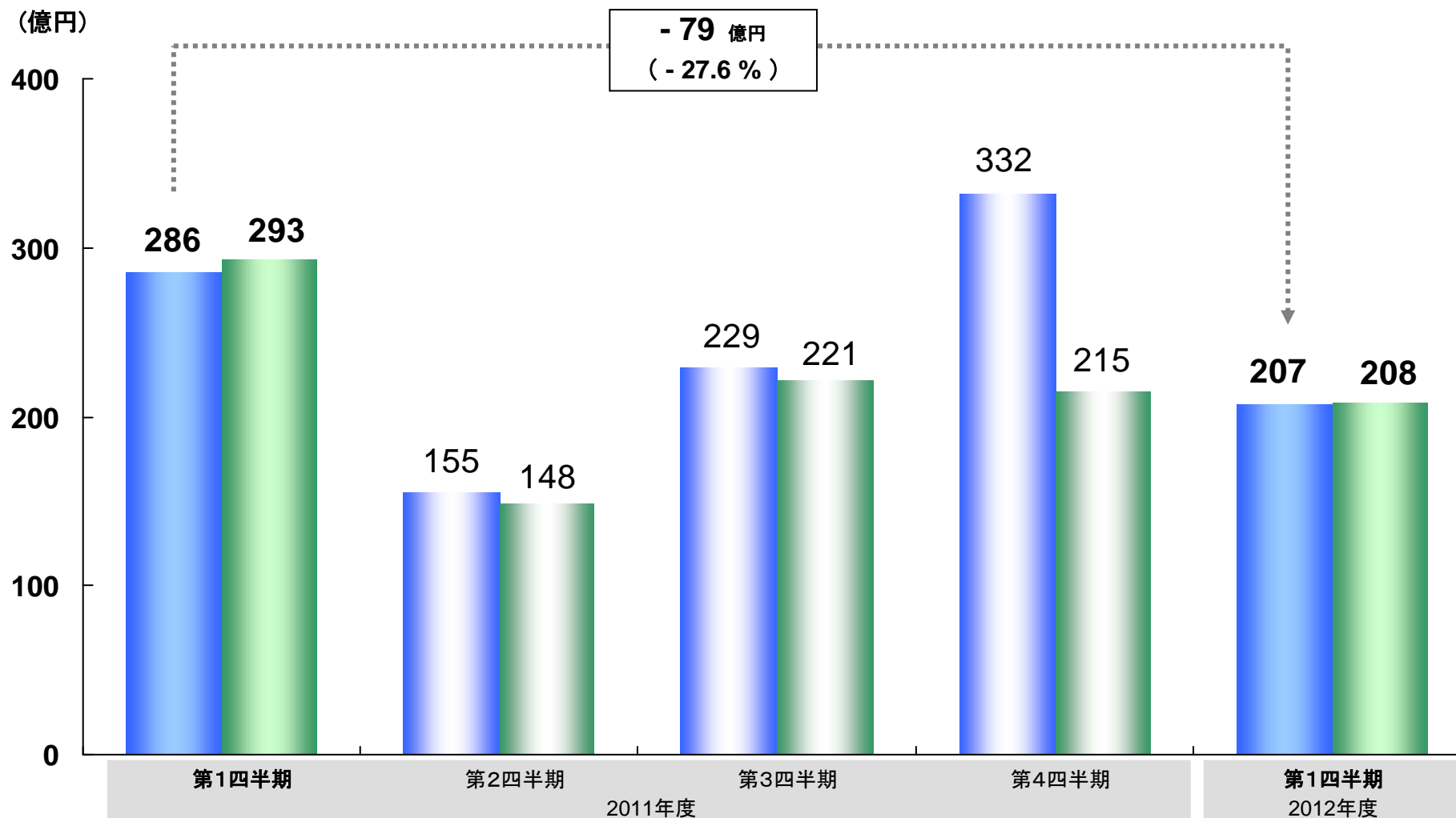
(- 4.2%)

営業利益 ■ 営業利益率 (%)

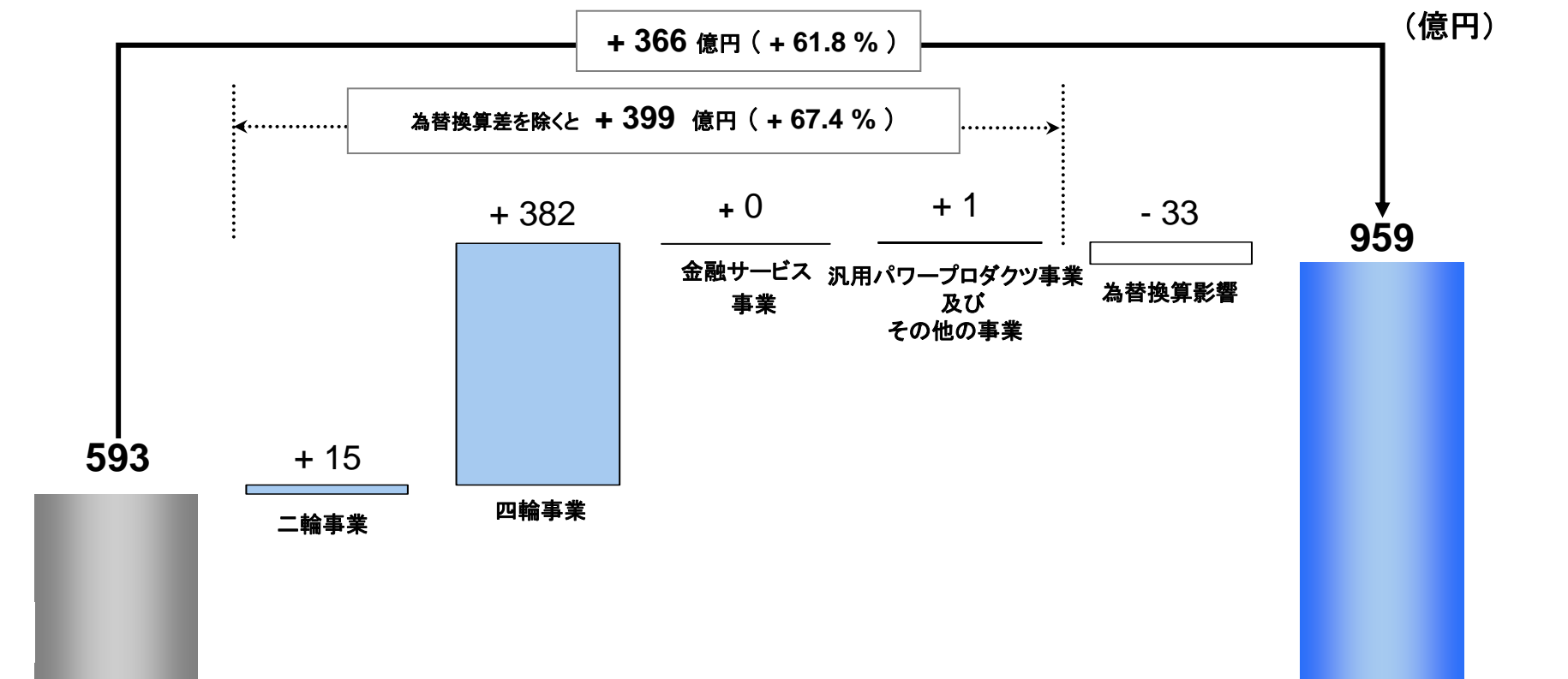


関連会社持分利益

合計 ■ アジア ■



2012年度 第1四半期 設備投資



※オペレーティング・リース資産および無形固定資産に係る設備投資は、上記の実績には含まれておりません。

前年同期

期中平均レート
1米ドル= 82 円
1ユーロ=117 円

	(億円)
二輪事業	111
四輪事業	460
金融サービス事業	0
汎用パワープロダクツ事業 及びその他の事業	20
合計	593

当第1四半期

期中平均レート
1米ドル= 80 円 (2 円 円高)
1ユーロ=103 円 (14 円 円高)
(億円)

二輪事業	117
四輪事業	821
金融サービス事業	0
汎用パワープロダクツ事業 及びその他の事業	20
合計	959

将来見通しに関する注意事項:

このスライドに記載されている本田技研工業株式会社の業績見通しおよび配当予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しおよび配当予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社、連結子会社および持分法適用会社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向、対米ドル、対ユーロをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。

会計基準:

米国において一般に公正妥当と認められた会計原則に基づいて作成しています。

利益増減要因に関する注意事項:

このスライドに記載されている営業利益変動要因の各項目については、当社が現在合理的であると判断する分類および分析方法に基づいています。なお、一部の分析項目において、当社および主要な連結子会社を対象に分析しております。各項目の分析方法については、以下のとおりです。

- (1)「為替影響」については、海外連結子会社の財務諸表の円換算時に生じる「為替換算差」と外貨建取引から生じる「実質為替影響」について分析しております。なお、「実質為替影響」については、主な取引を対象に分析しており、米ドル、カナダドル、ユーロ、ポンド、ブラジルリアルなどの、対円および各通貨間における為替影響について分析しております。
- (2)「コストダウン効果・原材料価格変動影響等」については、当社および北米、欧州、アジアなどの生産を行う主要な海外連結子会社におけるコストダウン効果や原材料価格の変動影響などを対象に分析しております。
- (3)「売上変動及び構成差等」については、売上高の変化や機種構成の変化に伴う利益の変動に加え、その他の売上総利益の変化要因を対象にして分析しております。
- (4)「販売費及び一般管理費」については、販売費及び一般管理費の前年度との差から、当該科目に影響する「為替換算差」を除いて表示しております。

= 為替影響額(実質影響/為替換算差)= (別紙1)

(億円)

	第1四半期 (3カ月間) 影響額	第1四半期 売上レート		
		2011年度 実績	2012年度 実績	レート差
円対米ドル	- 36	82 円	80 円	2 円 円高
円対ユーロ	- 19	118 円	104 円	14 円 円高
円対他通貨	- 60	—	—	—
他通貨間	- 20	—	—	—
売上レート差^{*1} (営業利益段階)	- 136	*1: 外貨建て売上高を計上する際のレートの前年同期との差		
売上/入金レート差^{*2} (営業外収支)	- 93	*2: 外貨建て売上高を計上する際のレートとその売上が入金される際のレートが異なることにより生じる差額の前年同期との差		
実質為替影響	- 230			
為替換算差^{*3} (営業利益段階)	- 61	*3: 外貨建て個別財務諸表を連結する際に使用する円換算レートの前年同期との差		
合 計	- 291			

(億円)

	第1四半期 (3カ月間)		
	2011年度 実績	2012年度 実績	増減額
為替ヘッジ 評価損益	+ 83	+ 255	+ 172
金利 / 通貨 スワップ	+ 19	+ 34	+ 14
その他	+ 1	+ 1	+ 0
合計	+ 104	+ 291	+ 187

HONDA
The Power of Dreams